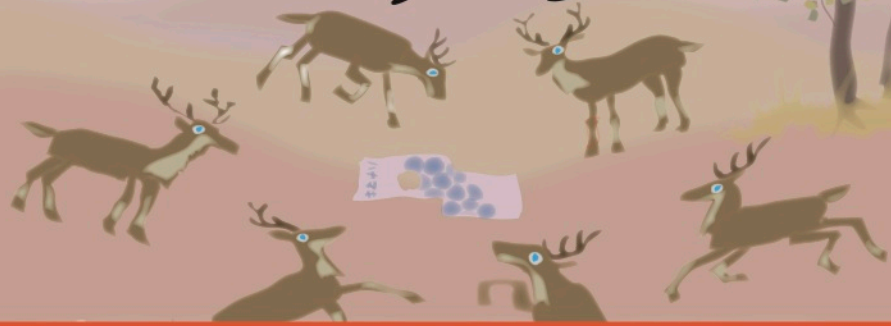


宮澤賢治劇場
第三回公演

鹿踊りの はじまり

まだ割れない巨きな愛の感情です。
すすきの花の向ひ火や
きらめく赤褐の樹立のなかに、
鹿が無心に遊んでいます。
ひとは自分と鹿との区別を忘れ、
一緒におどろうとさへします。
(宮澤賢治)



原作
宮澤賢治

構成・演出
笠井賢一

出演
本庄由佳

音楽
設楽瞬山

美術
橘 政愛

衣装
藤井克彦

細田ひな子

制作
アトリエ花習
鈴木絹子

水仙月の四日

赤い毛布を被ぎ「カリメラ」の銅鍋や青い焰を考えながら
雪の高原を歩いてきたことと
雪婆んごや雪狼、雪童子とのものがたり (宮澤賢治)



2月15日(土)14時~/16日(日)14時~

六本木ストライプハウスギャラリーB1

港区六本木5-10-33 TEL:03-3405-8108 <http://striped-house.com/>

入場料3000円/通し券5000円

第二回公演(1月18日)と
第三回公演(2月15日/16日)双方を鑑賞いただけます

お問い合わせ/ご予約 メール:contact.uka@gmail.com(本庄) アトリエ花習:電話090-9676-3798

宮澤賢治劇場 第三回公演 笠井賢一

昨年宮澤賢治劇場立ち上げ2回の出前公演を経て、

2020年1月18日第二回宮澤賢治劇場『宮澤賢治の詩と音楽により生涯をたどる』と

2月15日・16日第三回宮澤賢治劇場『鹿踊りのはじまり』と『水仙月の四日』の公演を催します。

この二つの公演は連動しています。

宮澤賢治は詩人・童話作家・劇作家・作曲家でした。

賢治世界には、動物も植物も人間もあらゆる生物が自然の営みの中で

残酷で滑稽なまでの生と死を循環させている、

という生命観と生態への眼差しがあり、その果てに立ち現れる笑と、捨て身の祈りがあります。

賢治劇場の立ち上げに書いたように、混迷する危機の時代に世界を照らす力と鍵は、

豊穣な自然と共生し、生物の眼差しを自らの命に取り込むことができ、それを表現する方言の

力を持っている東北の花巻の宮澤賢治と、九州水俣の石牟礼道子が双璧だと思っています。

これからも賢治という多面体・曼荼羅世界と、石牟礼道子作品とを両輪のように上演していきます。

またご要望があればいつでも出前公演も致します。

そこで鹿のめぐりはだんだんゆるやかにになりました。「おう、こんだ団子お食ばかりだよ。」

「おう、煮だ団子だよ。」「おう、まん円けじよ。」「おう、はんぐはぐ。」

「おう、すっこんすっ。」「おう、けっこ。」

鹿はそれからみんなばらばらになって、四方から柵のだんごを囲んで集まりました。「鹿踊りのはじまり」

雪童子がゆつくり歩いて来ました。雪狼どもは頭をふつてくるりとまはり、

またまつ赤な舌を吐いて走りました。「カシオピア、もう水仙が咲き出すぞ

おまへのガラスの水車 きつきとまはせ。」

雪童子はまつ青なそらを見あげて見えない星に叫びました。「水仙月の四日」



『鹿踊りのはじまり』

『水仙月の四日』

2月15日(土)14時~
16日(日)14時~

六本木
ストライプハウス
ギャラリーB1

港区六本木5-10-33
TEL:03-3405-8108
http://striped-house.com/

入場料 **3000円**

通し券 **5000円**

第二回公演(1月18日)と
第三回公演(2月15日/16日)
双方を鑑賞いただけます

お問い合わせ/ご予約
アトリエ花習
電話090-9676-3798

*六本木駅3番出口より徒歩4分



笠井賢一演出の石牟礼作品

2月28日 13時半・18時

石牟礼道子作浄瑠璃芝居

『六道御前』金子あい

成田市スカイタウンホール

3月11日 15時・19時

石牟礼道子作『緑緋紀の蝶』

新井純他

青山鏡仙会能舞台

笠井賢一 が演出した「宮澤賢治作品」

1985 千葉 森の劇場 「蛙の消滅」

出演 東の宮美智子(横浜ポートシアター)

1991 渋谷 ジャンジャン 宮澤賢治の童話によるKENJI BIOLOGY「なまねこなまねこ」

出演 石田幸雄(和泉流狂言)・東の宮美智子(横浜ポートシアター)

美術 藤井克彦

1992 青山 こどもの城 5days 「なまねこなまねこ一狸のじゅもん」

出演 石田幸雄(和泉流狂言)・東の宮美智子 美術 藤井克彦

1992 千葉 森の劇場 「森のエッセイ-宮澤賢治とリコーダー」

出演 東の宮美智子 オマタタツロー(リコーダー)

1996 花巻 なはんプラザホール 鏡之巫の会・花巻市教育委員会と共催

「賢治ワンダーランド-詩と童話と音楽と絵による…」

出演 八世 観世鏡之巫(能楽師・人間国宝)・観世葉子

音楽 橋政愛(パーカッション)・大久保薫(笙) 絵 藤井克彦

1996 千葉 真福寺 野外劇「セロ弾きのゴーシュ」

出演 清水寛二他 音楽 田口瑞博(チェロ)

1997 東京 シビックホール 2days・大阪 近鉄アート館 2days

「イーハトーブ 白い夢」(『賢治ワンダーランド』改訂版)

出演 八世 観世鏡之巫(能楽師・人間国宝)・観世葉子

音楽 橋政愛(パーカッション)・大久保薫(笙) 美術 藤井克彦

2004 東京藝術大学奏楽堂 邦楽アンサンブル「賢治宇宙曼荼羅」

作曲・演奏・出演山本邦山(尺八人間国宝)・野村四郎他藝大教授総出演

2015 両国 シアターX 能塾公演 音楽劇「賢治曼荼羅」

2016 出演 本庄由佳、宇佐美雅司ほか

音楽 橋政愛(パーカッション)・設楽瞬山(尺八・能管)

2018 アトリエQ藝術 第一回宮澤賢治劇場「蛙の消滅」「よだかの星」

出演本庄由佳 音楽 設楽瞬山

2019 GinzaOkami 第一回出前公演

新宿ルトリアングル 第二回出前公演

連動公演

宮澤賢治劇場 第二回公演 『宮澤賢治の詩と音楽により生涯をたどる』

1月18日(土)14時~/18時~ ストライプハウスギャラリーB1 入場料3000円/通し券5000円